

令和7年度 事業報告

【事務局:交通安全対策室】

1 自転車の安全利用に関すること

(1) 安全・安心な自転車利用促進事業

イベントにおける啓発活動のほか、ビワイチをはじめとする観光面や日常生活面での安全な自転車利用を促進するため、自転車安全利用指導員を委託し、交通安全教室や自転車安全利用啓発、自転車販売店に対する指導を実施した。

- ・ビワイチの日関連イベントでの啓発

- ・自転車安全利用指導員

交通安全教室 38 回(3,374 人)

街頭啓発 191 回(58,458 人)

ビワイチ参加者への啓発 249 回(2,163 人)

(2) 安全利用WGの開催

令和8年3月に1度開催(対面開催)

11 の機関・部署が参加し、下記の内容について報告および協議を実施した。

- ・令和7年中の交通事故情勢について

交通事故全体に関して、死者数は増。一方、件数および傷者数は減少傾向。

自転車事故に関して、死者数は増。また、件数および傷者数も増加傾向。

- ・令和7年度自転車安全対策事業の実施状況および令和8年度自転車安全対策事業の実施予定について

各機関からの事業の実施状況を報告した。

- ・その他情報共有

近畿府県における交通安全施策の紹介

【事務局:ビワイチ推進室】

令和7年度サイクルツーリズム推進事業実績報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで実施した標記事業について、下記のとおり実績報告いたします。

記

1 事業の目的

地域を代表する観光ブランドの一つである「ビワイチ」を、国をはじめ市町、県民、関係事業者・団体等の多様な主体とこれまで以上に連携しながら、本県の観光の振興を図り、活力ある地域づくりを進めるとともに、世界から選ばれるサイクルツーリズムを目指し、琵琶湖を中心に県内全体に広がる多様な資源を活かした周遊観光の推進はもとより、地域活性化へとつなげ、その取組を着実に推進した。

なお、令和7年の「ビワイチ」体験者数(推計)は約115,000人であった。

(参考:令和4年 98,000人、令和5年 128,000人、令和6年 119,000人、ビワイチルート上3か所に設置されているカウンターおよび、「ビワイチサイクリングナビ」アプリから取得するGPSデータにより推計)

2 事業内容等

項 目	概 要
(1)魅力向上と創出	ビワイチの魅力向上に向けて、滋賀ならではの観光資源の磨き上げや新たな観光コンテンツの創出、サイクリストと地域住民の相互理解のためのマナー向上に取り組んだ。
① 北の近江サイクリング周遊促進事業 覇 2,115,821円	米原市・長浜市・高島市の3市を対象としたデジタルスタンプラリーを春と秋の2回実施することにより、北部地域への誘客を促進した。 【スプリングシーズン】 令和7年4月26日～6月29日 参加者数:104名 【オータムシーズン】 令和7年10月4日～11月30日 参加者数:132名 委託費: 1,585,760円(株式会社ナビタイムジャパン) 諸経費:530,061円

②ビワイチ・プラス等デジタルスタンプラリー事業 568,440円	県内各地の魅力ある観光資源を活用したデジタルスタンプラリーの開催を支援し、身近な地域における自転車散策を推進した。令和7年度は、滋賀県の歴史街道をめぐるデジタルスタンプラリーの実施を支援。 【近江路中山道宿場めぐりデジタルスタンプラリー 自転車でめぐる街道旅へ】 ・期間:令和8年2月20日～3月22日 ・参加者数:231名 委託費:506,000円(株式会社ナビタイムジャパン) 広報費:61,560円(自転車ライフプロジェクト) 諸経費:880円
③ サイクリングマイレージ推進事業 1,124,820円	湖岸から内陸部への誘客を目的として「サイクリングマイレージ」を活用したマイレージ事業の運営およびその活用に必要な広報・啓発を実施した。 運営管理費:600,000円(株式会社ナビタイムジャパン) 追加開発費:459,800円(株式会社ナビタイムジャパン) 広報費:55,000円(自転車ライフプロジェクト) 諸経費:10,020円
④ 「シガパーク」を活用したサイクリング周遊促進事業 新 16,625,110円	アプリに休憩のタイミングや立ち寄りスポットを自動提案する「レコメンド機能」等により、初心者層をはじめとする多くの利用者の体験・周遊につなげ、経済効果の増加を図った。 ※当事業における主な業務内容は以下のとおり。 ①レコメンド機能の開発 ②レコメンド内容を事務局側で随時更新するためのCMS開発 ③iOSおよびAndroidOSアップデート費用



⑤ 「ビワイチの子」体験促進事業

1,943,844円

委託費:16,504,000円(株式会社ナビタイムジャパン)

諸経費:121,110円

滋賀県内の魅力ある4つのエリアで、募集型の子ども向けのサイクリングガイドツアーを開催した。

【応募者数/参加者数】

- ・長浜(10月19日):38名/27名
- ・野洲・守山(11月3日):38名/35名
- ・米原(11月9日):58名/0名 ※雨天中止
- ・能登川・安土・近江八幡(11月30日):49名/39名

委託費:1,859,780円(NPO法人五環生活)

PR費:79,190円

諸経費:4,874円



⑥ サイクリングガイドツアー振興支援事業

49,940円

令和8年4月1日に施行される改正道路交通法に関する説明や安全・安心にビワイチを楽しむための環境づくりに必要な知識・情報を共有する情報交換会を県内のガイドツアー等を対象に開催した。また、ビワイチ関係事業者と連携してプレスツアーを開催しPRを図った。

	○情報交換会 ・開催日時:令和8年3月10日(火) ・開催場所:オンライン(Zoom) ・参加者数:14名 ○プレスツアーの開催 ・開催日時:令和8年3月27日(金) ・参加社数:7社(読売新聞、中日新聞、毎日新聞、びわ湖大津経済新聞、しがトコ、NHK、バイシクルクラブ) 諸経費:49,940円
⑦ サイクリスト向け安全啓発リーフレット 1,100,770円	漫画「サイクリーマン」を活用したサイクリスト向け安全啓発リーフレットを増刷し、自転車販売店やレンタサイクルショップ、サイクルサポートステーションへ配架することにより、安全啓発を実施した。 サイクリストの心得である「ビワイチマインド」を分かりやすく説明すること、サイクリストの間で「サイクリーマン」ファンが多いことから効果的な安全啓発が実施できた。 印刷部数:3,000部 イラスト使用料:1,100,000円(講談社) 諸経費:770円
	
⑧ サイクリング体験・安全教室 496,000円	新たなサイクリング人口の創出に向けて、親子がサイクリングを始めるきっかけになるよう、自転車の試乗体験イベントを開催した。

⑨ 「ビワイチの日、ビワイチ週間」推進事業 4,532,493円	・開催時期:令和7年5月17日(土) ・開催予定場所:滋賀県希望が丘文化公園 ※雨天中止 委託費:90,600円(株式会社きゅうべえ) ・開催時期:令和7年10月19日(日) ・開催場所:奥びわスポーツの森 参加者数:97名 委託費:404,520円(株式会社きゅうべえ) 諸経費:880円 広くビワイチについての関心と理解を深めるとともに、ビワイチへの意欲を高め、愛着と誇りを育むため、「ビワイチの日」「ビワイチ週間」に集中的にイベントを開催した。 そのため、広報や道路情報掲示板など様々な媒体を活用して広報・周知するとともに、県民が気軽にビワイチを楽しめるようイベントを開催することにより、県民のビワイチ体験の定着を図った。 ○イベント運営 ・日時:令和7年11月3日、8日～9日 ・内容:駐日EU大使や駐日マルタ大使を招いた記念ライド、「ビワイチの子」子ども向けサイクリングガイドツアーの開催(11月3日)、エイドステーションの開設(守山、彦根、長浜、高島)(8日～9日) ・エイドステーション来場者数 11月8日(土):1,065名 11月9日(日):102名 【他団体と連携して実施したイベント内容】 ○11月3日 ・「What a wonderful Otsu!」にて自転車試乗体験ブースの 出展 協力:株式会社きゅうべえ
---	---

⑫ レンタサイクルワンウェイ事業 666,553円	・開催日程:令和8年1月26日(月)(高島会場) 令和8年1月27日(火)(草津会場) 受講施設数:114(⑩サポステ研修会との合算) 委託費:100,000円(一般社団法人輪の国びわ湖) 利用しやすいレンタサイクル環境の整備を促進し、自転車による多様な楽しみ方を広げるため、ナショナルサイクルルート「ビワイチ」のゲートウェイ拠点(大津港サイクルステーション、米原駅サイクルステーション)の途中返却拠点を拡大した。 【事業内容】 自転車の回収および、拠点拡大にむけた講習会の開催。 ○自転車回収 委託費:233,640円(ヤマトマルチチャーター株式会社) 回収台数:138台 回収回数:48回 ○講習会開催 委託費:429,448円(一般社団法人輪の国びわ湖) 諸経費:3,465円
⑬ ビワイチサイクリングナビアプリの活用推進 6,159,320円	「ビワイチサイクリングナビ」アプリを活用し、自転車周遊を促進させ、ストレスフリーな受入環境整備を図った。 令和7年度アプリDL数(確定値):6,991 DL ・実施内容 ①OS更新に伴うアプリ検証・修正、サーバー運用、 ②配信管理、アプリ利用状況集計、アプリ不具合対応 ③ビーコン点検、エコカウンターバッテリー交換、等 ○運用活用業務1 委託費:4,950,000円(株式会社ナビタイムジャパン) ○運用活用業務2

⑭ アプリを活用したデータ解析 4,500,000円	委託費:1,205,600円(株式会社ナユタ) 諸経費:3,720円 琵琶湖一周サイクリング体験者数の測定に加え、県内各地を周遊するビワイチ・プラスルートの体験者数および経済波及効果の解析方法を新たに確立するとともに、県全体のサイクリング体験者数、サイクリスト特有の行動形態、観光消費額等を属性分析し、新たな観光資源の発掘等に活かした。 ○動態分析 湖岸周辺だけでなく、ビワイチ・プラスをはじめとした内陸部へのサイクリストの来訪が増加していることが明らかになった。 委託費:2,805,000 円(株式会社ナビタイムジャパン) ○実地計測 ビワイチ・プラスルート沿いの12か所+ビワイチルート沿い3か所において、日の出から日の入りまでの走行台数を実地計測した。南郷公園休憩所、近江八幡ユースホステル前の走行台数が特に多いことが明らかになった。 委託費:1,389,520円(一般社団法人輪の国びわ湖) ○アンケート分析 令和7年に滋賀県内をサイクリングした方の県内宿泊割合は29.7%であり、宿泊したグループの一人当たりの観光消費額は昨年と比較して約3,000円増加した。また、クロス集計により、宿泊グループは日帰りグループに比べて「景勝地・歴史遺産巡り」や「サイクリングガイドツアー」を特に好む傾向があることなどが明らかになった。 委託費:302,500円(都留信行(産業能率大学教授)) 諸経費:2,980円
--	--

⑮ びわ湖材を活用したビワイチ観光推進事業 額 367,000円	県産木材を使用した商品を開発することにより、サイクリストに対し、県産木材の魅力を発信し、サイクリストにやさしい宿の利用を促進した。 ○「滋賀県サイクリストにやさしい宿」銘板作成費 作成個数:30個 委託費:32,560円(大滝山林組合) ○サイクルサポートステーション・サイクリストにやさしい宿向け講習会におけるノベルティ作成費用 作成個数:325個 委託費:334,000円(一般社団法人輪の国びわ湖) 諸経費:440円
(3)魅力発信	琵琶湖一周の「ビワイチ」ルート、県内の観光地や景勝地等を周遊する「ビワイチ・プラス」ルートを多くの人に注目してもらうため、国内外に向けてプロモーションを実施した。
⑯ ビワイチ・プラス等イメージアップ推進事業 99,440円	女性や家族連れを対象に、市町と連携して「ビワイチ・プラス」の多様な楽しみ方紹介などを、インフルエンサー等を活用して発信した。 ○「ビワイチの日2025」記念ライド発信費 委託費:99,000 円(株式会社ADDIX) 諸経費:440円 記事:「ビワイチの日2025」記念ライドを開催ー 駐日EU・マルタ大使らが参加、国際色豊かなサイクルイベント ー URL:https://www.funq.jp/bicycle-club/article/1037725/
⑰ 全国イベント等と連携した魅力発信事業 2,245,209円	日本最大の自転車フェス「サイクルモードライド」等の全国イベントに出展することや他県と連携した取組を実施することで、「ビワイチ」の魅力を発信した。

	○テレビを活用したビワイチ魅力発信業務 ・TBS「ラヴィット！」ジャンポケ太田の熱血サイクリング部（令和7年12月5日放送分） 委託費：305,700円(株式会社きゅうべえ) ○自転車ウェブメディアを活用したビワイチ魅力発信業務 ・「琵琶湖岸を走り、古い町並みやヴォーリス建築を訪ねるプチビワイチ」 委託費：299,999円(株式会社ADDIX) ○「サイクルモードライド大阪2026」企画実施・出展 ビワイチや滋賀県各市町のパンフレットを1,800セット配布。 委託費：1,250,000円(水色舎) 出展費：287,980円 諸経費：101,530円
⑱ 先進的サイクリング環境整備事業 1,000,000円	海外に向けて、ビワイチの魅力発信を実施した。 ○台南旅行博出展業務 ・令和7年11月20～24日(5日間) 委託費：900,690円(齊富興業有限公司) 諸経費：99,310円

⑱ 万博等を契機としたビワイチ体験促進事業 額 4,671,753円	多くの外国人観光客が来場する万博から本県への誘客を促進するとともに、国スポ・障スポで活用されたルートを活用して県内観光を促進するため、「ビワイチ」を軸とした魅力発信、受入環境整備ならびに海外とのつながりを強化することにより、ビワイチの体験促進を図り、世界から選ばれるサイクルツーリズムを展開した。 ○「ブルゲンラント・ロード」案内リーフレット制作 委託費：550,000円(株式会社ライダス) ○レンタサイクルのモデルプラン造成業務 大津・米原それぞれ2プランずつ造成。 委託費：495,000円(宮川印刷株式会社) ○台湾メディアを対象としたビワイチファムトリップ業務 委託費：1,320,000円(公益社団法人びわこビジターズビューロー) ○ビワイチサイクリングマップ日本語版改訂業務 委託費：165,000円(一般社団法人輪の国びわ湖) ○ビワイチサイクリングマップ日本語版印刷業務 委託費：628,650円(アインズ株式会社) ○レンタサイクルモデルプラン(簡体字等)造成業務に係るリーフレット印刷 委託費：669,900円(宮川印刷株式会社) ○台北サイクルショーにおけるビワイチ魅力発信業務 現地でのPRに加え、日台「Bicycle Club」のSNSメディアにて情報発信。 委託費：495,000円(株式会社ADDIX) 諸経費：348,203円
(4)推進体制強化	サイクリストのニーズと事業者が持つシーズのマッチング、各施設でのサービス向上に向けたコンサルティングの実施に向け、官民連携による事務局体制の充実化を図った。
⑳ アドバイザーを活用した多様な連携推進 3,169,256円	「ビワイチの日、ビワイチ週間」推進事業や「ビワイチの子」体験促進事業における企画段階での支援等、滋賀プラス・サイクル推進協議会による取組の活性化につながる委託を実施した。 委託費：3,100,000円(水色舎) 諸経費：69,256円

ツーリズムWGの実施

- 第1回 6月3日(火)13時～(オンライン実施)
6月4日(水)13時～(オンライン実施)
- 第2回 12月15日(月)10時～(オンライン実施)
12月18日(木)15時～(オンライン実施)

主な協議事項等

- ・ビワイチの日企画
- ・サイクリングマイレージ企画
- ・サイクルモードライド大阪への協働出展
- ・サイクルサポートステーション講習会の報告

自転車関係の展示会であるサイクルモードライド大阪へのWG メンバーでの協同出展や、ビワイチの日、サイクルスタンプラリーについての意見出しなど、WG メンバーが意見を出すだけでなく、参画できる機会にも留意しながら今年度もワーキングを運営させて頂きました。

【事務局:交通まちづくり政策課】

3 情報発信に関すること

(1) 滋賀プラス・サイクル推進協議会ホームページでの情報発信

年間アクセス件数

R7:35,283 件

過去の推移

R6:34,660 件 R5:44,320 件 R4:50,008 件 R3:50,002 件

※R4→R6 にかけてアクセス件数が減少している理由

・Google のアナリティクス の計測基準が変更されているため

【発信内容】

- ・自転車交通ルール
- ・サイクリングマップ
- ・滋賀県自転車の安全で適正な利用の促進に関する情報
- ・自転車店、レンタサイクル、駐輪場等の自転車の日常利用に資する情報
- ・サイクルツーリズムに関する情報
- ・自転車通勤の推進に係る情報
- ・自転車事故をはじめ自転車の安全啓発に関する情報
- ・その他自転車の利用促進のため必要な情報
- ・問合せ対応 21 件

(2) 情報発信WG

プラスサイクルホームページでの発信内容(自転車交通ルールやサイクルツーリズム等に関する最新情報等)の充実に向けて、コンテンツの更新や機能追加、情報発信の改善などを協議している。

開催日:令和8年2月17日(火)10:00~11:00

内容

- ① 令和6年度に行った情報発信 WG を踏まえた対応および閲覧数等の報告を行った。
- ② 今後必要なホームページの改善について、Web サイトの現状を踏まえつつ、WG メンバーで議論を行った。

意見等

- ・青切符制度の情報の発信をしてはどうか。
- ・外国人観光客の方への配慮が必要。(多言語、イラスト中心)
- ・どの情報が更新されたのかが分かりにくい。
- ・親子向けの自転車ライフ情報の充実化が必要。

【事務局:道路保全課】

4 自転車活用推進計画に関すること

(1) 自転車活用推進計画WG(令和8年3月開催)

「滋賀県自転車の安全で適正な利用促進に関する条例」や「ビワイチ推進条例」などに基づく滋賀県独自の自転車の取組を包括する「第2次滋賀県自転車活用推進計画」に位置付けている 84 種類の取組について、令和7年度の主な取組内容を報告し、WG員に意見を伺った。

WG員からの意見等

- ・市町版自転車活用推進計画策定の推進が必要。
- ・日常利用の安全性・利用促進が重要。
- ・自転車のみならず公共交通と連携したビジョンの構築が必要。